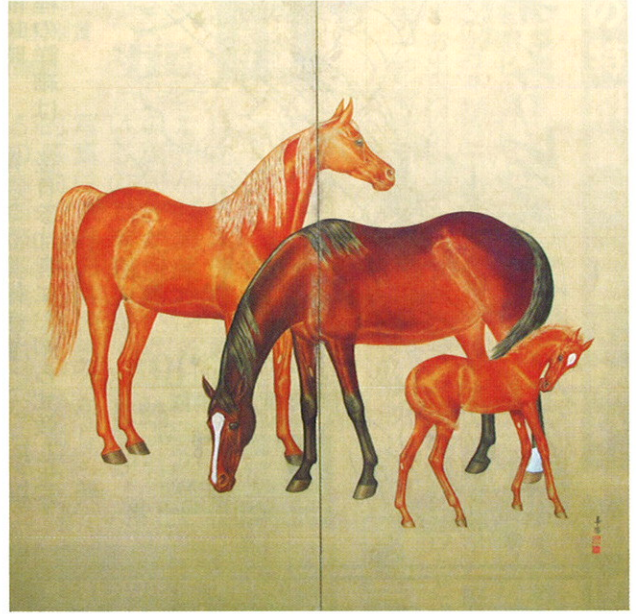




友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501 青森県七戸町鷹山宇一記念美術館内
熊内67-94 荒野宇一記念美術館
<TEL>0176-62-5858 <FAX>0176-62-5860
<e-mail> takayamamuseum@ruby.plala.or.jp



【上泉華陽の屏風／題・制作年不詳、二曲一双】（只今11月7日まで展示中）

「上泉華陽さん」

先日、郷土の画家についてお話しをさせていただく機会をいただいた。当館収集作家として顕彰される鷹山宇一をはじめ鳥谷幡山、平野四郎、そして上泉華陽各氏について講義を行い、展示中の画家たちの作品をご鑑賞いただくという1時間30分であった。畏れ多くも講師拝命というこの機会である。冷や汗をかく思いで、今一度資料を読み返したり、過去の展覧会を思い返したりしている中で、ふと幼稚園の頃の通園風景がフラッシュバックした。

七戸生まれ七戸育ちの私はあの頃、幼なじみと二人、自宅から歩いて15分ほどの距離を登下校していた。恐いとも苦痛とも感じることなく、遊びがてら、町の散策がてらの通園はとても楽しく、その日の気分によってルートを変えるのが常であった。中でもお気に入りのは、きくや商店や濱中歯科医院を経由し、石井医院を過ぎて角を曲がればすぐ役場が見える、新町・城内コース。特に、石井医院の隣りの家をじっくり鑑賞しながら通るのが、大の楽しみとなっていた。外壁（？）家の周りそこかしこに描かれた馬がいる家。時折、玄関の扉が開かれている日もあり、他の人の家とは知りつつもこっそり奥を覗いて沢山の馬の絵があることを確認した。馬の家。子ども心にも普通の家とは違う何かを感じつつ、素敵なお家だな、そんな思いで幼稚園に通った記憶が甦る。

その家が、かつての上泉華陽さんのご自宅であったと知るのは随分大人になつてからだが、あの時からすでに華陽さんと私との出会いは始まつていたのだと思うと、学芸員という立場で今再び巡り会えたことにご縁の不思議さと深さを感じずにはいられない。

明治25年、山形県米沢市に生まれた華陽さん。幼い頃から自宅に飼われていた馬を可愛がり、馬に魅せられ、馬を描く画家になるべく東京美術学校（現東京藝大）に進学。画家を志したきっかけはイギリス帰りの伯父さんからお土産にもらった一冊の馬の画集。その伯父さんは、映画などにもなった『二百三高地』に実名で登場する海軍中佐上泉徳弥氏。その祖先を辿ると、戦国武将であり剣士としても有名な上泉信綱であると言ひ、その孫は上杉氏の家臣、大河ドラマで人気を博した直江兼継配下の上泉泰綱であると言ひ。以降、上泉家は米沢藩士として続いていく。そんな家系の出身である華陽さんが七戸町に永住するきっかけとなったのは、良馬が沢山集まる土地であり、自分の描きたい理想の馬がここにいたこと。以来腰を据え、地方にいなながら絵筆一本、馬の絵を描き続けて天寿を全うした。今や町の名所となった天王神社「つじの杜」の造成に尽力したのも華陽さん。その作品は、当町を中心とした馬事関係機関や個人宅などに、沢山遺されている。いつか、これらを一堂にご覧いただける機会がないものか、そして、上泉華陽作品巡りのアートツアーなど企画できたらいいかな、などと、思案しているこの頃なのである。（学芸員 大池亜希子）

ご家族と一緒に！ 平成22年度友の会第2回研修旅行のご案内

スタジオジブリ・レイアウト展

～待望のジブリが青森に！ 宮崎駿らがエンピツで描いたレイアウト1300点を一挙公開！



高畑・宮崎アニメの秘密がわかる

《スタジオジブリ・レイアウト展》

好評の友の会研修旅行。平成22年度第2回目の研修旅行は、青森県立美術館において「スタジオジブリ・レイアウト展」、青森県立郷土館において「生誕250年北斎富士を描く」を鑑賞いたします。皆様の参加をお待ちしております。

◆ 研修先 青森県立美術館・青森県立郷土館

◆ 日時 平成22年11月7日(日)

◆ 募集人員 先着 44名

◆ 参加費 中学生以上 4,000円
小学生以下 2,500円

(バス代・入館料・昼食代金含む)

小学生以下はお子様メニュー

◆ 申込期限 平成22年10月24日(日)

◆ 日程

◇ 午前8時30分 七戸南公民館出発／鷹山美術館

◇ 午前10時 青森県立美術館着

◇ 日程の詳細は、後日参加者にお知らせ致します

トロケーション



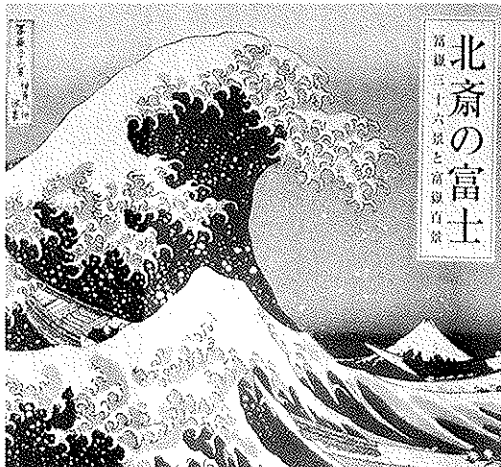
まっくるくるすけを壁に自由に張るコーナー



その誕生から「借りぐらしのアリエッティ」まで
楽しさいっぱい
スタジオジブリ・レイアウト展

レイアウト展示の他にも「トロ」のおなかの上に乗れる「トロケーション」、「ポニョ」と一緒に写真が撮影出来るコーナーや自分の描いた「まっくるくるすけ」を壁に自由にレイアウトできるワークショップなど、子供から大人まで楽しめるコーナーもおすすめ!

(画像は青森県立美術館パンフレットから転載)



「生誕250年 北斎富士を描く」展

幕末の江戸時代において、希有の画才を発揮し続けた葛飾北斎。晩年富士山を主要なモチーフに選び「富嶽三十六景」などの傑作を生んだ。ヨーロッパ印象派絵画にも多大な影響を与えた北斎の珠玉作を紹介。

主催：東奥日報社・青森県立郷土館

会期：10月30日(土)～12月5日(日)

【参考資料：記事／青森県立郷土館HPから転載

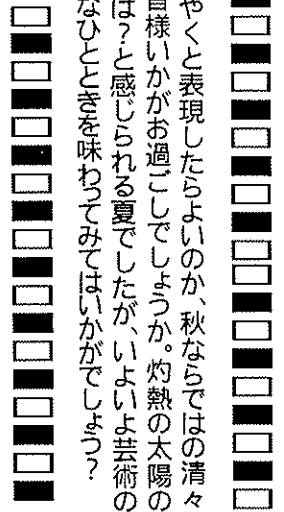
写真左／図録「生誕250年展北斎の富士」(表紙)



秋の特別展のごあんない

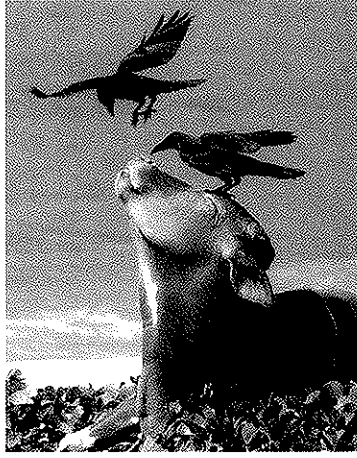
8月の猛暑から一転、急にと言ったらよいか、ようやくと表現したらよいか、秋ならではの清々しい風を感じられるようになった今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。灼熱の太陽の下、多くの方々が日中の外出を極力避けていたのでは？と感じられる夏でしたが、いよいよ芸術の秋です！お出掛けの機会を増やして、美術館での豊かなひとときを味わってみてはいかがでしょうか？

鷹山宇一記念美術館秋の特別展をご紹介します。



10月9日(土)～11月7日(日) 毎週月曜日休館 祝日の場合は翌日

第70回国際写真サロン展



▲第70回国際写真サロン審査委員特別賞
イルテ・タイム
「Friend」 IL-TAE LIMさん(韓国)

全日本写真連盟・朝日新聞社が主催する国内では最も権威ある写真コンテスト「国際写真サロン」。国内外、プロ・アマチュア問わず応募できるこのコンテストには、毎回たくさん作品が集まります。第70回展も海外38カ国から5,401点、国内から3,636点もの力作たちが勢揃いし、審査会において130点の入賞入選が決まりました。

※入館料 一般600円。大学生以下は常設展料金。友の会会員の皆様は特典とあり。

審査委員長である田沼武能氏の総評から一部をご紹介します。「ドキュメンタリー写真と違い、自由奔放に感性や感動を表現した作品が集まり、それぞれの国民性が作品に盛り込まれているので審査も楽しみみである。写真は世界の共通語であり、美的感動が国境を越えて交流できるのも国際写真サロンならではといえよう。」そして続けて「大切なことは独創性である。選者はその人でなければ表現できない魅力を求めている。」と締めくくっています。

多彩な表現と独創性：1点1点それぞれの写真家ならではの視点と表現力が表された、多彩な作品たちに出会えそうな予感がします。

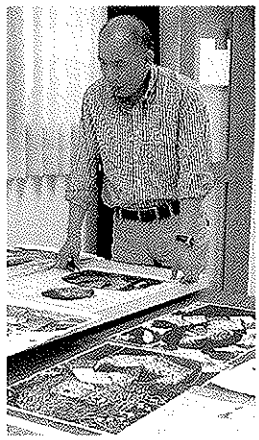
紙面でご紹介した作品は、審査委員特別賞に輝いた韓国のイルテ・タイムさんによる「Friend」。気持ちよさそうな牛さんの表情がなんとも微笑ましく癒されます！本当はカラーの作品。是非本物を鑑賞ください。

11月1日(日)～新年1月2日(日) 毎週月曜日休館 祝日の場合は翌日

第10回鷹山賞児童作品展 / 第10回地球環境世界児童画コンテスト優秀作品展 鷹山賞児童作品展10周年記念「濱田進展 / 鷹山賞10年のあゆみ展」

鷹山宇一の感性を育んだ、七戸町を中心とした青森県旧南部藩一帯の地域の小中学生に作品を募集する「鷹山賞児童作品展」。本年も子どもたちの豊かな感性に一層磨きを掛けていただこうと願い、第10回展を開催します。

十年一昔、とはよく言ったものですね。第1回展開催時の子どもたちも、今ではスツカリ成人して立派な社会人になっていたり、青春のただ中を熱く生きていたり、みんなきつとそれぞれ道を懸命に歩んでいるんだろうと思いを馳せながら、感慨深い思いを感じています。一人でも多くの子どもたちがこの絵画展で、創造することの喜びを味わい、個々の自信に



▲第9回展(昨年)の審査をする濱田進先生。本年の審査会は10/1、2を予定しています。

繋がる体験を得られたらと願い、また本展が、人生を振り返った時に素敵な思い出として記憶される出来事であつたら幸いです。

今年も鷹山賞児童作品展入賞入選作品と、財団法人日本品質保証機構等が主催して、「地球環境」をテーマに世界各国の子どもたちに作品を公募した「地球環境世界児童画コンテスト」から優秀作品をご紹介します。また、本展10周年を記念して歴代の鷹山賞受賞作品を一堂に展覧します。

そして、特別展「濱田進展」の開催！濱田進先生は、第1回展から鷹山賞の審査委員長を務める二科会絵画部会員で評議員でもある京都府在住の洋画家です。そのお人柄もさることながら、イタリアやフランスの街頭街並風景を繊細緻密に、且つ遊び心をスパイスに情感込めて描く作品は、多くの美術ファンに愛されています。今回特別にご出品いただき、油彩水彩作品を中心に紹介します。

本展で審査委員長濱田進先生のエスプリに是非触れてみてください！！

※常設展料金でご入館いただけます。友の会会員の皆様は特典とあり。

□7月16日(金) 開催式・テープカット・レセプションパーティー

▶テープカットをして開幕を祝いました。左から
青山浄晃当財団理事長、青森放送株式会社
代表取締役専務長崎昭義様、七戸町副町長
大平均様、松伯美術館学芸員・鬼頭美奈子様、
青森県副知事・青山祐治様、七戸町議会議員
田中正樹様、鷹山増子当館名誉館長



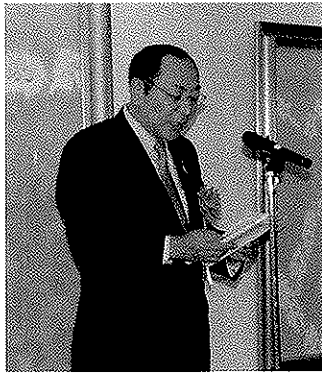
松伯美術館コレクション

上村家三代/松園・松篁・淳之展

—華麗なる美の系譜—

Report

青森放送株式会社と共に主催して、8/22(日)迄開催した本展も、37日間の会期を無事終了し、県内外から、6,030人ものお客様にご来館いただきました。日本画のイメージを一変させる大作の数々に驚きつつ、上村家に脈々と受け継がれた美の伝統に触れていただくことができたのでは?と感じております。この紙面では会期中の出来事をご紹介します。



▶レセプションパーティーでは、青森放送株式会社代表取締役専務長崎昭義様より乾杯のご発言を頂きました。
◀開催式では青森県副知事・青山祐治様左、七戸町副町長大平均様右よりご祝辞を頂戴しました。

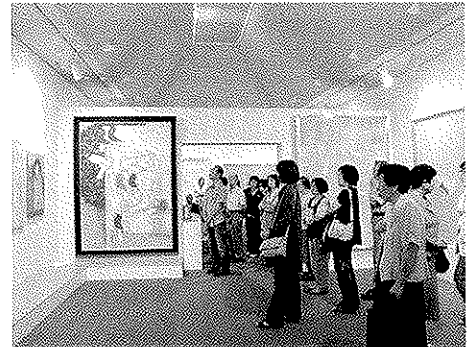


▶「茶道裏千家七戸会」の皆様によるお抹茶とお菓子のサレ入。毎
年ご来館のお客様に上質な癒しの一時をご提供いただいています。



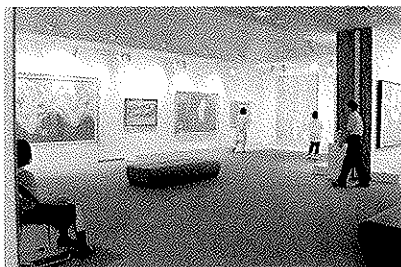
□8月1日(日)開館記念日
「茶道裏千家七戸会」によるお呈茶

□7月16日(金)、17日(土) ギャラリー・トーク



◀松伯美術館学芸員・鬼頭美奈子氏(左)。展示会場を巡りながら上村松園、松篁、淳之各氏の作品とエピソードの数々を、1時間にわたりたっぷり解説していただきました。上村芸術への理解も一層深まったようです。

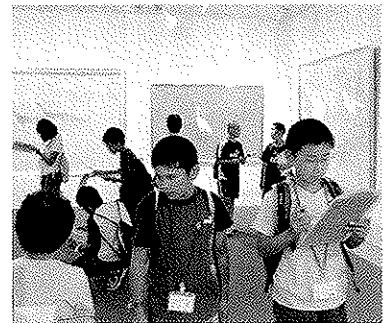
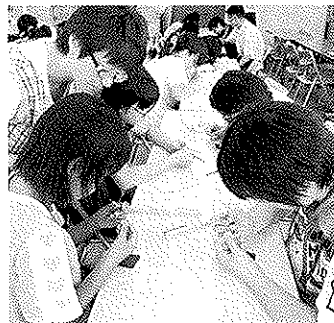
◎ あいごうございました ◎



茶道裏千家七戸会様、七戸町文化協会様、青森県立七戸高等学校の皆さん、そして友の会会員の皆様、会期中の看視ボランティアをはじめ、たくさんのお力添えを頂戴しました。心から深く感謝申し上げます!!

お力添えを賜りました皆様に深く感謝申し上げます!

□8月5日(木) 当館を会場に「南部藩児童交流事業」が開催されました
遠野市・七戸町の6年生の子どもたちが一緒に「上村家三代展」を鑑賞! 「銀細工講座」を体験!!



▲七戸町教育委員が主催する毎年恒例の交流事業。旧南部藩領の子どもたちが思い出の時間を共有。ワークシートを片手に熱心に作品を鑑賞する真剣な姿が印象的でした(_)v

美術館 ●●●●●
ワークショップ ●●●●●
ものづくり教室 かも ●●

ウッド カッターズ クラブ
WOOD CUTTERS CLUB
— 木こりの工房 —
美術館あ〜っと!くらぶ

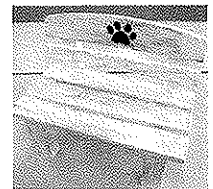
「WOOD CUTTERS CLUB
— 木こりの工房 —」

こたちの教室からは、6月27日、7月4日に行った「ミニチェアづくり」の様子をご紹介します。



今年度の会員は、小学3年生から中学生までの総勢11名。新メンバーも加わり、一層にぎやかな活動となりそうです。初めての

のお友達にもわかるように、ツールペイントの手順とその目的をひとつひとつ確認しながら進めました。ヤスリかけ→木の汚れをとり、表面をなめらかにする→下地塗布→木の汚れをおさへ、絵具の発色をよくする→地塗り→ムラなく仕上げるために一度塗ったらヤスリで表面を整え、もう一度、というように全ての作業には意味があります。今回は塗った絵具をヤスリで削り、少し古ぼけ



た仕上がりにする方法を学びました。ワンポイントの模様をつけたら、ニスがかぶせて完成！使うのが楽しみです。

「美術館あ〜っと!くらぶ」



あ〜っと!くらぶからは、6月26日、7月3日に行った「白黒木版画づくり」の様子をご紹介します。講師は、元奥入瀬小学校校長の藤谷

芳雄先生。木版画の講師としてお招きするのは今年で6年目となります。活動中は先生のはつらつとした声が工房に響きます。



まずは時間をかけて「心に残っている思い出」をヒントに版画の要となる下絵を制作します。完成したら板に写して墨入れ。



白黒のバランスを考えながら、彫る場所と残す場所をしっかりと確認します。単調にならないように彫りを進めたら、よく練ったインクで刷ります。黒一色とはいえ、白と黒、そして自然に残った彫り跡がなんともいえぬ表情を見せてくれます。実に奥深い技法です。

（美）スタッフのひとりごと

暑い暑い夏とともに、上村家三代展が終了した。上村松園作「花籠（はながたみ）」。作品の展示が終了した後、職員の特権である《館内巡視》の時間に、この作品と対面した。私は「きれいだ」と思った。同時に「はかない」とも思った。しかし、スタッフ何名かは「あの作品が怖い」という。図録の解説を読むと、確かに、「狂女を描くため精神病患者と面会し、リアリティを追求した」と松園自信が語っている。え？そんなに怖い作品だっけ？と思ひ返し、もう一度見に行く。

世阿弥の作とされる謡曲「花籠」に着想を得た作品。主人公「照日の前」の愛しい人は急遽皇位を継ぐため上洛。彼女に残されたのは花籠と文だけ。次第に想いの行き場をなくし物狂いして狂女となった彼女は、形見の花籠と文を持って彼の後を追いつ都へ上る。継体天皇となった君はある日紅葉狩りに出掛ける。一行の前に狂女(照日の前)が現れ花籠を持って舞いはしめる…。そんな場面を描いたのがこの作品だという。(話しの続き一帯は徐々にそれが照日の前であると気づき、彼女の健気な心に打たれ、また一緒に都で暮らすこととなった。照日の前の心の病も治ったとか…)

あの田を舞う不安定な視線はそこから来ているのか!!誰かを恋しく思う余りに狂ってしまう。人の気持ちとはそまてに激しいものなのであろうか。狂乱してなお愛しい人に再会し、物狂いを演じた彼女の気持ちはどんなであったろう。頼りなげな肩、いまにも消え入りそうな、しかし存在感のある奇妙なオーラ。作品のもととなったエピソードを知ってなお、彼女に何度会いに行っても、やはり私には照日の前が「怖い」とは思えず、むしろその純粋さを「きれいだ」と感じ、「切なくやりきれない」想いに駆られてしまつてあつた。

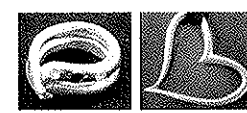
かくいう私はそんな狂気に満ちた恋愛を経験したことはないのだが…(笑) T.S

○●●● アートで“おもてなし” ●●●○
美術館ものづくり体験講座

申込があればどなたでも体験可能なものづくり教室を用意しています。芸術の秋…過ごしやすい季節となりました。趣味に没頭するのもたまにはいいのでは(*^_^*)大切な誰かと、そして親子のスキンシップにもぜひご活用下さい!!

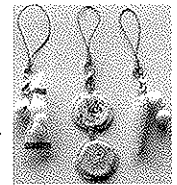
■シルバーアクセサリ制作体験

銀粘土で純銀製のオリジナルアクセサリを制作します。世界にひとつだけの作品をつくりましょう!!



■ご当地ストラップ制作体験

七戸町特産の「にんにく」や「ながいも」をリアルに表現し、ストラップに仕立てます。かわいくて笑える作品に挑戦します!!



■手作りプチアルバム制作体験

お気に入りの写真を原稿に、簡単な製本で手作り感あふれるプチアルバムを制作します。



各講座お一人様2,000円(入館料込み)

10時~13時/14時~17時のいずれか
※体験希望日の3日前までに要予約。小学校3年生以上、1日ひと組5名様限定です。但し、当館事業の都合上ご要望にお応えできない場合がございます。あらかじめご了承ください。

美術館日誌

【6月】

- ▼1日/中部上北教育相談室、中学生5名引率4名様ご来館、フランス絵画展を鑑賞。下田デイサービス15名様ご来館
- ▼2日/七戸町・城北保育園児童20名引率2名様ご来館、フランス絵画展を鑑賞。老人ホームやくら荘23名様ご来館。八戸地域広域市町村圏事務組合10名様ご来館
- ▼3日/七戸南公民館講座「アートのたしなみ(西洋絵画編)」当館を会場に開催(講師:大池)
- ▼4日/七戸町・明照保育園児童11名引率2名様ご来館、フランス絵画展を鑑賞。下田中学校PTA11名様ご来館
- ▼6日/フランス絵画展最終日
- ▼7日/展示替え休館(6/11迄)。町内高齢者施設、保育園幼稚園招待日。高齢者76名引率41名様、天間みどり保育園児童9名引率3名様、道ノ上保育園児童25名引率4名様、城南保育園児童37名引率4名様、榎林保育園児童17名引率2名様ご来館。フランス絵画展作品梱包作業東京マルイ美術)
- ▼8日/フランス絵画展作品搬出作業(東京マルイ美術)。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼9日/大池山形市出張、山形美術館へフランス絵画展作品返却(10日迄)
- ▼12日/鷹山宇一常設展開催7/4迄。友の会総会開催
- ▼15日/十和田済誠会病院6名様(来館。スペイン民芸資料館ロビーエアコン修理

- ▼20日/福士孝衛氏叙勲祝賀会に戸館館長出席(柏葉館)。七彩会油絵教室
- ▼22日/戸館館長山形市出張フランス絵画展御礼。青森県観光連盟専務理事・九戸眞樹氏ご来館。鷹山宇一本版画3点貸出(口ポットと美術展)青森県立美術館。静岡県立美術館、島根県立石見美術館。絵馬館・渡り廊下エアコン修理
- ▼23日/アートでもてなし!ものづくり体験講座「シルバークセサリーづくり」1名様受入
- ▼24日/戸館館長東京出張25日迄美術館冷暖房切替作業オキタ工業
- ▼25日/朝日旅行大阪支社企画「小さな美術館巡りの旅」24名様ご来館
- ▼26日/美術館あつとーくらぶ!白黒木版画づくり①開催。友の会役員会開催
- ▼27日/WOOD CUTTERS CLUBミニチエアづくり①開催
- ▼29日/長野県飯山市議会行政視察9名様ご来館。消防設備定期点検(昭和電気)
- ▼30日/ボイラーポンプ交換オキタ工業。油川下町町会女性部28名様ご来館

【7月】

- ▼1日/岩手北観光37名様ご来館。戸館館長青森市出張
- ▼2日/絵画保険打合せ(ヤマト)
- ▼3日/美術館あつとーくらぶ!白黒木版画づくり②開催
- ▼4日/川部あすなろ会23名様ご来館。WOOD CUTTERS CLUBミニチエアづくり②開催。おみやげ品開発アドバイザー来館、当館を視察(町商工観光課)
- ▼6日/上村家三代展作品搬入(東京

- マルイ美術)
- ▼7日/電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼9日/七戸まちづくりの会実行委員会(佐伯出席、本庁)
- ▼10日/ソノコマーシユギターライブ開催
- ▼12日/展示替え休館(16日迄)
- ▼13日/当財団経理担当当面面接試験
- ▼14日/松柏美術館学芸員・鬼頭美奈子氏ご来館、上村家三代展作品展示作業(東京マルイ美術)。戸館館長青森出張。
- ▼16日/上村家三代展開催式。ギヤラリー・トーク開催(講師:鬼頭学芸員)
- ▼17日/上村家三代展初日(8/22迄)。ギヤラリー・トーク開催(講師:鬼頭学芸員)
- ▼20日/青森県教育委員会立入調査
- ▼21日/JAF残間氏来館JAFメイト購読者へのプレゼント抽選会。おいらせ町北公民館サークル合同研修会26名様ご来館
- ▼24日/佐伯青森市出張(青い森ファンド実績報告会、アウガ)
- ▼28日/戸館館長青森出張
- ▼30日/佐伯十和田市出張十和田エリア魅力連携部会、十和田市中央公民館
- ▼31日/美術館あつとーくらぶ!夏休み工作教室①七宝焼開催。大池青森市出張RABラジオ出演、上村家三代展開催案内。「茶道裏千家七戸会」お呈茶準備作業

【8月】

- ▼1日/開館記念日。広報しちのへ持参町民無料招待日。「茶道裏千家七戸会」によるお呈茶のサービスマス実施
- ▼2日/アーツイスト横尾忠則氏、鷹山県美術館とご来館。昼食会を開催

- ▼3日/アートでもてなし!ものづくり体験講座「シルバークセサリーづくり」18名様受入(上北郡連合PTA母親委員会)。七戸町教職員初任者赴任者ふるさと学習23名様ご来館。岩手県遠野市教育長・藤澤俊明様ご来館。電気設備定期点検(佐藤電気)
- ▼5日/「南部藩児童交流」事業参加児童42名引率13名様ご来館、銀細工講座を体験
- ▼6日/当財団経理担当当面面接試験
- ▼7日/美術館あつとーくらぶ!夏休み工作教室②ジェルキャンドルづくり開催
- ▼9日/青森テレビ「いちおし!青森うまいもの工房」絵馬館を取材
- ▼10日/上北地方小教研工部会、美術館連携研修会を当館にて開催、11名様ご来館
- ▼13日/当財団第4回理事会開催
- ▼19日/七戸南公民館講座「アートのたしなみ(日本画編)」当館を会場に開催(講師:大池)
- ▼22日/上村家三代展最終日
- ▼23日/展示替え休館(8/27迄)。町内高齢者施設等利用者無料招待日。高齢者93名引率45名様、榎林保育園児童15名引率2名様ご来館。上村家三代展作品梱包作業東京マルイ美術)
- ▼24日/上村家三代展作品搬出作業(東京マルイ美術)
- ▼26日/戸館館長青森市出張。産業文化健康まつり関係団体打合せ会議(佐伯出席、南公民館)
- ▼28日/秋田県鹿角市文化財保護協会研修34名様ご来館。七彩会油絵教室
- ▼29日/大池奈良市出張(上村家三代展作品返却、8/31日迄)

上村家三代「華麗なる美の系譜」
「松園・松篁・淳之展」
 お客様からの感想を一部ですが
 紹介します。

●奈良の松柏美術館へは、もう十数年前に訪れたことがあります。それ以来の、特に松園の銘品にまた会えて、とてもうれしく思います。
 (黒石市・40代男性)

●すばらしく、感激いたしました。松園の絵をもう少し見たく思いました。とにかく、すばらしかったです。周囲にもすすめます。
 (三沢市・50代女性)

●新幹線が来るようになって、今の良い雰囲気はなくなりませんが、今に！
 (藤崎町・60代女性)

●貴重な作品を遠く青森県で企画して運んで来て下さったことに感激致します。まさか、こちらで見られるとは、と感激しました。
 (八戸市・50代女性)

●きれいな絵やランプを見て、持ち主の方々はとても高い精神の持ち主なのだと思つた。このような物を保管し公開できること自体がとても有難いことだ。
 (八戸市・20代男性)

●皆様の接し方が感じ良かったです。作品はなんともいえないですが、すばらしい！
 (八戸市・50代女性)

●作品はすごくきれいでびっくりしました。自分が気に入った作品もありました。また来たいです。
 (東北町・10代女性)

●なかなか見ることのできない、松園、松篁、淳之の作品を真近く見ることができて、とてもよかったです。
 (東通村・50代女性)

●貴重な絵が集まり、関係者方に感謝しつつ見ました。狂女などすばらしい。
 (弘前市・60代女性)

●また、いろんな展覧会を開いて下さい。たのしみになります。
 (青森市・20代女性)

●とても良かったです。奥でお菓子お茶無料でとてもおいしくいただきました。暑い一日でホッとできました。ときでした。
 (七戸町・50代女性)

●上村家三代展という事でとても楽しみにして来ました。松園の下絵もあり、制作過程の一端を知ることが出来ました。三人三様で楽しめました。松園の絵が少なく一寸期待はずれでした。
 (八戸市・60代女性)

●美しい絵の数々に心静かになる時を過ごせた。身近に、このような場があることはとてもうれしいものだと思います。
 (十和田市・40代女性)

●日本画で額縁に入っていない作品があったので、じっくりと観察できました。温湿度計が展示室にあつてしっかり管理されているのだと感じた。
 (弘前市・20代女性)

●思いがけず、すばらしい展覧会に出会いました。よかったです。いい一日になりました。
 (秋田県・50代女性)

●このような展覧会大歓迎です。小規模でも価値ある作品を鑑賞できる幸せ。青森という田舎文化の途絶えた地でこのような企画は本当に有り難い。
 (八戸市・70代男性)

●油絵や水彩画、鷹山宇一ガラスコレクションなど全てOK。特に偉大な建築家を身近に感じ取る木造の椅子

の座り心地が良い。

●とても素晴らしかったです。小説「序の舞」で興味を持つていたので、こんなにくさんの作品を見られて嬉しかったです。
 (七戸町・40代女性)

●一番奥の部屋の展示が一部ガラスの反射で作品がみづらい物があり残念でした。
 (七戸町・40代女性)

●七戸は文化的なものに消極的だと思ふのですが、この美術館はいつも意欲的な展示を行つていてありがたいです。
 (神奈川県・40代女性)

●三代並べて観られて幸せです。いつも「ああ、よかつたなあ」と気持ち鎮静化させてくれる。いつか奈良へ訪ねてみたいと思ひました。
 (八戸市・70代女性)

●以前も見たいものがありました。バスが不便なのであきらめた事があります。その点の改善を望みます。
 (青森市・50代女性)

●いつも気になることは「ガラスの反射」です。照明とか角度の問題でしょうが、展示物のガラスに写つて作品が良く見えないことがあります。
 (青森市・70代男性)

●上村家三人の画風の違いをそれぞれ比べる楽しみ方もあつて良かったです。初代の作品をもつと見てみたい。日本画の面白さを感じることができました。
 (八戸市・10代女性)

●作品数が少ない。特に松園のものはもつと展示して欲しかった。全体的に物足りない感じ。
 (青森市・60代女性)

●松園の作品の実物を鑑賞でき、とても嬉しいです。すばらしい作品揃いでした。東北で見られてありがた

いことです。作品の目録が欲しいです。
 (秋田県大館市・50代女性)

●大変良かったです。日本画の新しい面を見た感じです。油絵にない優しい絵と色がステキでした。またこのような展覧会を開催して欲しいです。
 (黒石市・50代男性)

★オランダ・ベルギー美術紀行
 定員にまだ余裕がございます。皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは、美術館へお問い合わせ下さい。

★ご意見・ご要望をお寄せ下さい
 皆様の会報です。友の会事業全般、研修旅行、お便り、旅行記等をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

編集後記 日本列島各地で暑さの記録更新を続けた夏も終わり、収穫の秋、そして読書の秋と形容される季節となりました。会報も第60号となり、たとえるならば還暦を迎えたことになりました。長年、鷹山宇一記念美術館を支え続けてきた友の会会員に深く感謝申し上げます。また、友の会・会報第60号を発行出来るのは歴代の会報編集に携われた方々の努力の結果です。本当にご苦勞様でした。今後とも会報編集に当たつてのご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。
 会報編集を終えた今、深まる秋の夜長、栗やキノコや山ブドウなど秋の味覚を味わいながら読書の秋を楽しみたいと思つております。(T・T)

スタジオジブリアニメーション 『借りぐらしのアリエッティ』と『盛美園』



「カリグラフィの・・・。」という言葉だけを聞いたときは「仮の暮らし」を連想していました。『東京の郊外にある古い屋敷の庭』という設定のアニメーション映画を見てやっと「借りぐらし」という意味なのだ」と納得。舞台となった古い屋敷のモデルとなったのが青森県平川市(旧尾上町)にある国指定名称・盛美園だ。庭園を眺めるために建てられた和洋折衷様式の盛美館、武学流の真髄を示したといわれ、明治三十五年から九年の歳月をかけてつくられた広さ三千六百坪(一・二ヘクタール)の庭園内を、あちらこちらと散策しながら、ここが映画の中でアリエッティが床下から外へ

盛美館：庭園の造営が半ばに差し掛かった頃、庭園を鑑賞するために建てた。完成は明治42年、一階は和風、二階は洋風と判然と異なった建物が上下に重なっている例は他に無く、正に明治時代の文明開化を象徴している建物として知られている。

庭園：盛美園は、津軽地方に数多く見られる武学流の真髄を示したものとわれ我が国における代表的な庭園に数えられている。

写真上：盛美館で出会ったアリエッティ

写真右：盛美館と庭園、あずまや

参考資料：借りぐらしのアリエッティ(小学館) 盛美園パンフレットその他

「借りぐらしのアリエッティ」の世界を想像し、「人間に見られてはいけない。それが床下の小人たちの掟だった。」という言葉を感じたいと思いました。

(T・I)



の出入り口に利用していた草むらへ続く通風孔とその周辺、真の築山に登り、四阿(あずまや)から盛美館の二階を眺めながらあそこが翔(シヨウ)という男の子が住んでいた部屋なのだからアニメの最新作

友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願い

平素から会員の皆様には友の会の運営に多大なお力添えを頂き、誠に有り難う御座います。今後とも鷹山宇一記念美術館への応援よろしくお願ひ致します。随時お更新手続きは美術館窓口と郵便振替により

友の会の事業内容

- ① 県内外美術館研修視察旅行(年2〜3回)
 - ② 海外美術館研修旅行(第5回海外研修旅行)
 - ③ 2011年4月オランダ・ベルギー美術紀行)
 - ④ 美術館作品購入基金への協力
 - ⑤ 鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
 - ⑥ 山の発行
- その他(美術講演会の開催等)

- 一般会費員 (個人) 年度会費 3千円
- ① 無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引
- ② ミュージアムグッズ1割引
- ③ 研究会、講演会への招待、優待
- ④ 美術館等の視察研修への優待参加
- ⑤ 他会報の配布

- 特別会費員 (個人・法人) 年度会費 1万円
- ① 一般会費員特典に加えて個人・法人会員と
- ② 新規加入及びの伴者1名まで無料入館

- 助会費員 (個人・法人) 年度会費 2万円
- ① 一般会費員特典に加えて個人・法人会員と
- ② 新規加入及びの伴者1名まで無料入館

◇ 詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

- ③ 特別企画展の度に、集、招待券を贈呈
- ② 新規加入及びの伴者3名まで無料入館
- ① 一般会費員特典に加えて個人・法人会員と